

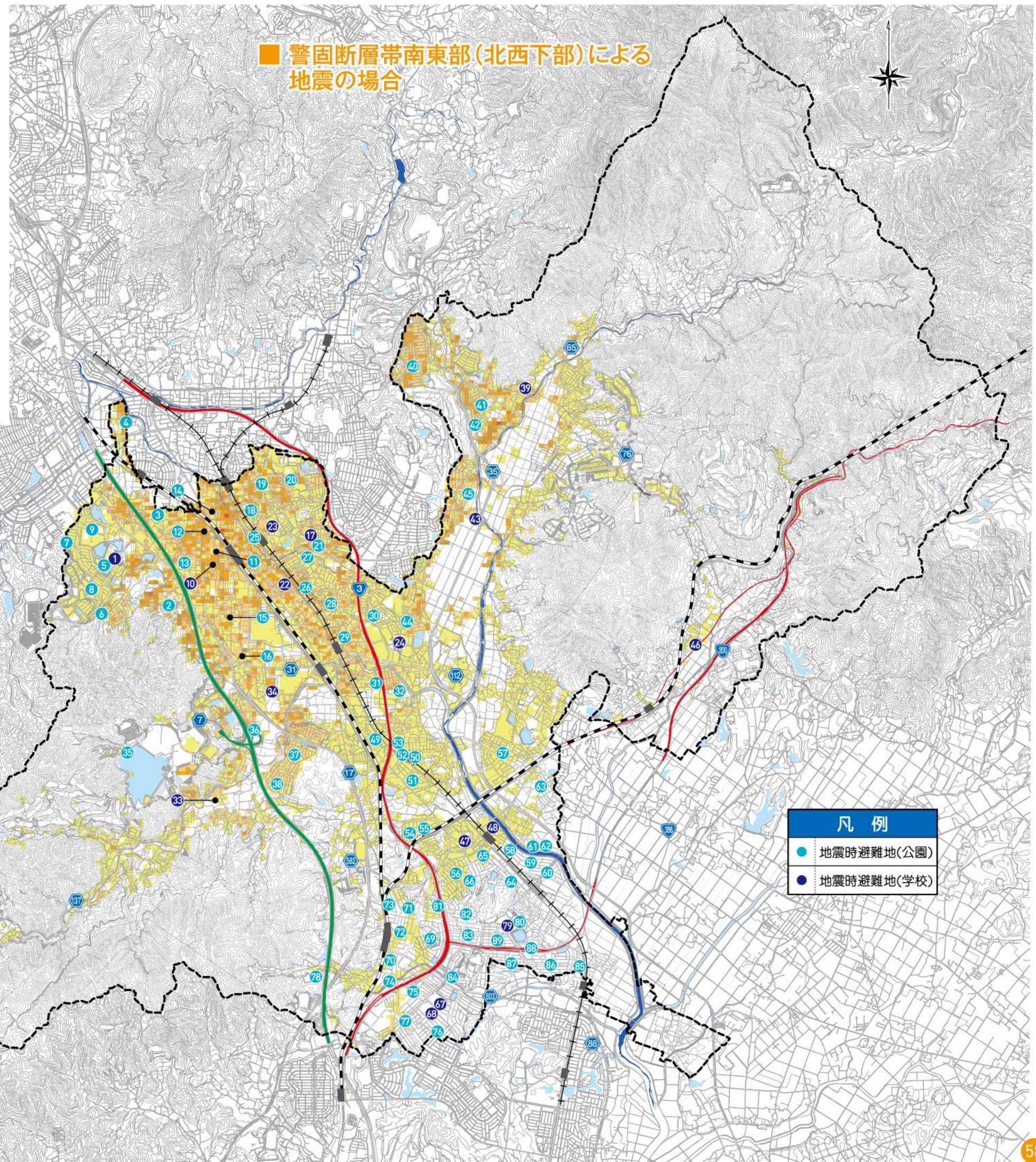
地震危険度マップ

危険度マップとは？

危険度マップとは、警固断層南東部（北西下部）による地震での揺れが各地で発生した場合、どのくらいの建物が全壊するかを色分けしたものです。

建物が木造か非木造か、または古い建物か新しい建物かなどの違いによって、地震の揺れで倒壊する危険性が変わってきます。

新しく耐震性のある建物が多い地域では建物全壊率が低く、古く耐震性の低い建物が密集している地域では建物全壊率が高くなる可能性があります。



被害凡例	
建物全壊率(%)	
	30%以上 40%未満
	20%以上 30%未満
	10%以上 20%未満
	5%以上 10%未満
	5%未満

※避難所となる学校は耐震改修を完了しています。